

2025 年度 YOKOHAMA-SXIP
派遣プログラム参加学生の声

氏名	T. T.		
所属	理工学部数物・電子情報系学科電子情報システム EP	学年	4
派遣先大学	アンナ大学		
期間	9/19-9/30		

派遣先大学での研修や語学面で学んだこと

アンナ大学での研修では、自分の研究分野に近いだけでなく、海洋管理やデザインシンキングなど様々な分野についての講義を受けることができ、見識を広めることができた。

語学面では、講義や学生との交流を通して、インド英語のアクセントや英語でのコミュニケーションを学ぶことができた。

派遣先の国の生活面、文化や社会的なことで、学んだこと

インドは宗教観が日本と大きく違った。お寺で熱心にお祈りしている人がいたり、ほとんどの人が右手のみを使って食事をとっていた。

また、建設中の高層ビルが多くあり、急激に発展しているのだと感じられた。

来年度プログラム参加を考えている学生へ

各方面からの支援を受けてインドを訪問できるのはとても貴重な機会です。

語学面だけでなく、インドの生活や文化など様々なことを学ぶことができるため、積極的に参加してみるとよいと思います。

2025 年度 YOKOHAMA-SXIP 派遣プログラム参加学生の声

氏名	T. H.		
所属	理工学部	学年	4
派遣先大学	アンナ大学		
期間	9/20～9/29		

派遣先大学での研修や語学面で学んだこと

派遣先の大学では教授の講演や企業への訪問活動を通して、海に関連する環境問題やその対策、日本企業とインドの企業がどのように連携してきたか、そして人体の運動の分析やデザイン工学などの研究等、様々な分野に対して自分の見識を広げることができた。

派遣先の国の生活面、文化や社会的なことで、学んだこと

インドでも基本的には日本と同じ部分が多く、人々の考え方なども共通している部分が多いと感じた。また宗教が多神教ということもあってか、他の文化や宗教に対しても非常に寛容な印象を受けた。また手で食べることからか食事前に手を洗うことが日本よりも徹底されていて、清潔さへの意識が高いと感じた。

来年度プログラム参加を考えている学生へ

参加する前に「派遣先の国名 旅行」等とインターネットで検索しておくことをお勧めします。その国についての注意すべき所やいい所などが大体わかります。自分も事前に調べて対策などをしていきましたが、調べたことはだいたい合っていましたし、それ以外で困ることはありませんでした。また向こうの学生さんたちはすごくいい人たちでした。少しくらい英語ができなくても、きちんと礼節を持ってコミュニケーションをすれば全く問題はなかったです。安心して参加して良いと思います。



2025 年度 YOKOHAMA-SXIP
派遣プログラム参加学生の声

氏名			
所属	理工学府	学年	M2
派遣先大学	アンナ大学		
期間	9/19-30		

派遣先大学での研修や語学面で学んだこと

インドで日常的に触れる英語は、標準的な発音から、一度では聞き取れないほど独特なアクセントまで、非常に多様性に富んでいました。当初は戸惑いもありましたが、そうした環境下で必死にコミュニケーションを図るうちに、多様な英語に対応できる実践的なリスニング能力が格段に強化されました。

派遣先の国の生活面、文化や社会的なこと、学んだこと

インドでの生活は、日本との大きな差異の発見に満ちており、日々が刺激的な学びとなりました。社会面では、宗教が人々の生活に深く根付いている点や、貧富の差が極めて激しいという現実を目の当たりにしました。その一方で、インドの方々が示してくれた温かいホスピタリティや、学生たちの圧倒的な勉学への熱意には深く感銘を受けました。

文化面では、手を使った食事や独特の社会マナーなど、日本とは異なる習慣に直に触れることができ、非常に刺激的な体験となりました。

来年度プログラム参加を考えている学生へ

インドでの経験は、あなたの視野を根本から広げてくれるはずです。日本とは全く異なる環境や価値観に触れ、現地の学生と交流することは、単なる旅行では決して得られない貴重な財産となります。ただし、その経験を最大限に活かすため、語学力、特にスピーキングの練習はしっかり準備していくことをお勧めします。

適応には苦勞する部分もありますが、そこで得られる学びは計り知れません。少しでも興味があれば、ぜひ挑戦してみてください。